

事務事業評価表 平成24年度

政策 政策の総合推進  
 施策 施策の総合推進その2  
 基本事業 施策の総合推進その2

事業名 **議会だより発行**

[0581]

部名	議会事務局	事業開始年度	昭和60年度	実施計画事業認定	非対象
課名	庶務係	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民 (世帯)</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>議会が決まったことや議会の活動について分かりやすく広報することによって、市民の関心を高める。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>議会での議決結果や一般質問の内容等を要約した広報誌(8ページ)を年4回発行し、自治会を通して各世帯へ配布する。                      未配布世帯に対する周知のため、公民館や情報図書館等の公共施設に配置しているほか、ホームページにも掲載している。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	世帯数	世帯	53,242	53,518	53,923	53,923
対象指標2						
活動指標1	1回当たり平均配布 設置部数	部	41,943	42,055	42,061	41,900
活動指標2	1回当たり発行部数	部	42,600	42,600	42,600	42,600
成果指標1	配布率	%	79	79	78	78
成果指標2	議会だよりを読んでいる市民の割合	%		66		
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,532	1,532	1,532	1,532
正職員人件費 (B)		千円	7,053	6,851	5,618	6,879
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	8,585	8,383	7,150	8,411

費用内訳	
23年度	需用費 1,532千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	・自治会の協力を得て各戸に配布しているが、年間の世帯数増加に比較し自治会への加入世帯が少なく、議会だよりが行き届きづらくなりつつある。
--------	--	-------------	---

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

議決内容や議会活動を分かりやすく市民に伝えることは、議会の役割の一つである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

上位の基本事業なし

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由  
・  
根拠は？

自治会未加入世帯に対する周知のため、議会だよりを市ホームページへの掲載も行き、広く市民に伝えている。また、郵便局や市内JR駅にも配置し、市民に関心を持つよう促している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

市民の要望に応え、読みやすく分かりやすい紙面づくりに努める。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由  
・  
根拠は？

原材料費等の高騰によりコストが上昇しているため、現状では難しい。